



8周年をむかえました

武蔵野市ファミリーサポートセンターが活動を始めて8周年をむかえました。

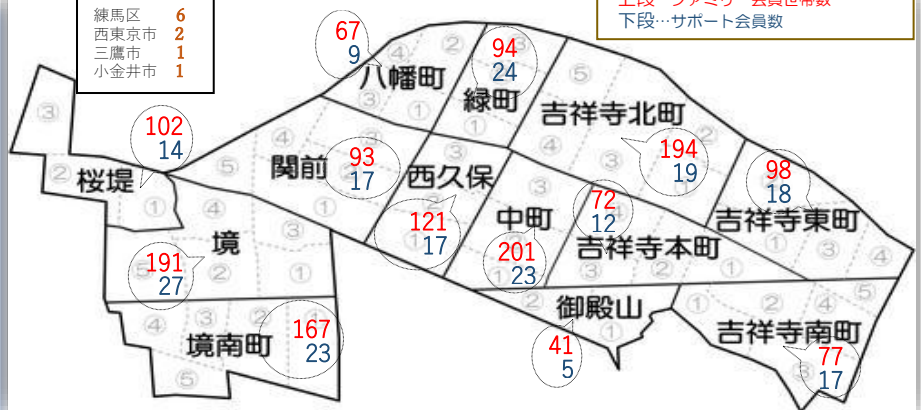
この8年間でファミリー会員さんのご登録は1,500人を超えました。ご要望も様々です。ご依頼にお応えしていくためにはサポート会員さんのお力が必要です。

「サポート会員養成講座」を毎年開催し、サポート会員の増員に努めています。

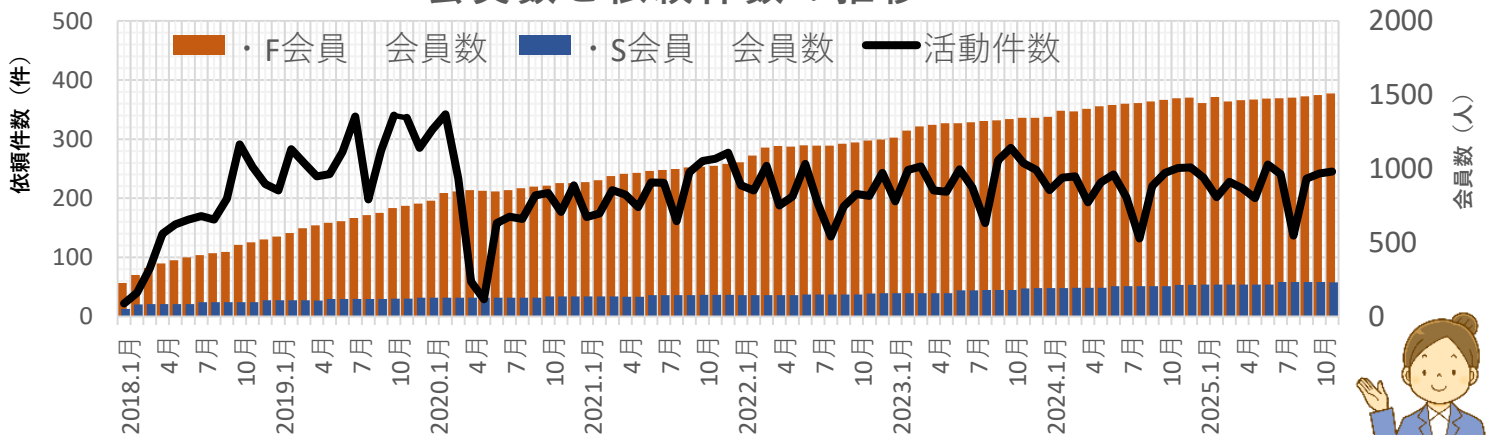
【会員の分布】

練馬区	6
西東京市	2
三鷹市	1
小金井市	1

上段…ファミリー会員世帯数
下段…サポート会員数



会員数と依頼件数の推移

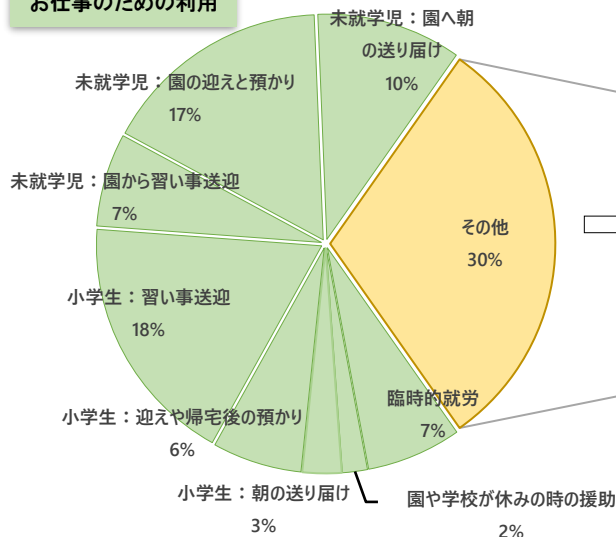


コロナ感染症の出現により活動が制限された時期です。

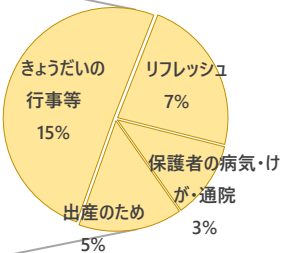
みんなどんな時に使ってるの？

- ★ ご家族だけでは手が足りない時、園・学校・習い事などへの送迎で利用されているご家庭が多いです。
- ★ お仕事以外の場面では、きょうだいの行事等でのお預かりが増えていきます。(2024.12～2025.11の集計)

お仕事のための利用



お仕事以外での利用



私のおすすめ絵本



今年度のサポート会員スキルアップ研修では、「絵本から子どもが得るもの」として絵本の大切さを学びました。サポート会員のおすすめの絵本を紹介いたします！

三びきのやぎのがらがらどん

(ノルウェーの昔話／絵：マーシャ・ブラウン
出版社：福音館書店)

- ・この絵本は、子どもたちに「勇気をもつこと」「あきらめない心」そして「人に迷惑をかけると痛い目にあうこと」を自然に教えてくれるお話だと思います。
- ・とても迫力のある絵と緊張感を伴って進んでいく物語に大人も引き込まれます。

おせちいっかのおしょうがつ

(作・絵：わたなべあや／出版社：佼成出版社)

- ・おせち料理の各料理たちがかわいいキャラクターになって描かれています。各種おせち料理の由来も掲載されているので、子どもに読み聞かせをしながら大人も勉強になります。

どうぞのいす

(作：香山美子／絵：柿本幸造／出版社：ひさかたチャイルド)

- ・絵本を通して、誰かに優しくすることや思いやりについて、子どもたちに伝えることができる絵本だと思います。
- ・同じ事が繰り返しの展開になっているので、内容が理解しやすい絵本だと思います。



くだもの

(作・絵：平山和子／出版社：福音館書店)

- ・シンプルな構成の絵本ですが、その絵がとても写実的で本当の果物のようです。「さあ、どうぞ」という言葉と共に、子どもに食べさせるまねっこをしたり、果物の味や形のことをお話するなど、親子のふれあいや会話が広がる絵本です。

サポート会員養成講座を行いました！

11/5(水)～28(金)の日程で、武蔵野商工会議所にて開催しました。

日々更新されていく情報に皆さん熱心に耳を傾けていました。

また子どもの遊びや救急救命ではグループワークで和気あいあいと学ぶことができました。きっかけは皆さんそれぞれですが、地域の役に立ちたい、ご自身が助けられたので恩返ししたい、という方も多く、優しい気持ちの輪が広がっている

事を嬉しく思います。さっそく活動が始まった方もいます。皆さんの今後のご活躍を期待しています。



今後の予定

- ❖ 2/2(月)、6(金) } サポート会員定例会
- ❖ 3/2(月)、6(金) } (市役所、吉祥寺、ブレイスなど各所にて)

- ❖ 2/8(日) 両会員交流会(市民会館にて)

- ❖ 令和7年度第1回サポート会員養成講座

* 6月開催／詳細は決まり次第

ホームページにてお知らせ致します。

☆編集後記☆ 元旦、初日の出を見に行きました。

東の空に雲がかかってしまい、今年は残念だなと思っていたら・・・雲がオレンジ色に光り、合間から見える朝日の光が神々しく輝き、唯一無二の初日の出となりました。毎日当たり前のように昇る朝日、皆様も是非、白い息を吐きながら毎年違う景色を眺めてみてはいかがでしょうか。(生)

